

# 第2次GKK活動基本計画(概要)

令和6(2024)年4月作成  
ガス警報器工業会(GKK)

## ■基本計画の骨子

### 1. 目標

GKKの基本方針に基づく活動が、最大限の効果が得られるように、実効性のある活動の実現を図り、もってガス警報器のより一層の普及促進を図る。  
(目標値:ガス警報器設置率100%)

### 2. 実施期間

**令和6～12(2030)年度(7年間)**  
令和8年度に必要な応じ見直す。  
(※)経済産業省「安全高度化計画2030」、全L協「LPガス安心サポート推進運動」に連動。

### 3. 基本的な考え方

- (1)GKK理念及び基本方針に基づき活動、更にエネルギー転換等の分野へ、もう一歩先を進める。
- (2)短期的課題、中長期的課題も含めた基本戦略の構築を目指す。
- (3)LPガスと都市ガス、夫々の実情に即した有効活動の方向性を示す。
- (4)毎年度「ガス警報器工業会事業計画書」の一助となるよう、今後実施すべきアクションプランの方向性を示す。

## ■実施計画(アクションプラン)

### 1. 広報活動等のターゲット基軸の見直し

ガス販売事業者向けが最重要分野、一般消費者へも展開。更に国・都道府県へ協力。

### 2. LPガス・都市ガス別の重点活動方針

#### (1) LPガス用向け

- 1)LPガス警報器の普及率上昇に向けた関係者への働きかけ
- 2)令和6年度以降のリメイク運動の推進
- 3)都道府県LPガス協会との意見交換会実施方法の見直し
- 4)音声型警報器設置の推進
- 5)業務用厨房施設等におけるガス警報器とガスメーターの連動遮断の推進
- 6)機能の高度化への取組

#### (2) 都市ガス用向け

- 1)都市ガス警報器の普及率上昇に向けた関係者への働きかけ
- 2)都市ガス事業者との意見交換
- 3)居室用CO警報器の普及推進  
<総務省消防庁関係>
- 4)新規参入ガス小売事業者への具体的な啓発活動の策定

### 3. 支部活動活性化への取組み

上記取組みが全国的に実効性あるよう、本支部間で連携して広報活動等を実施。

#### 4. 短期的課題への取組み

- (1)新型コロナ後の広報活動等のあり方の検討と実行
- (2)ガス警報器検定台数実績の要因分析の継続した検討
- (3)創立50周年記念事業の実施

#### 5. 中長期的課題への取組み

- (1)ガス警報器の海外展開
- (2)長期ビジョン策定に向けた準備
- (3)社会情勢変化の動向把握と会員への情報提供